

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	数学Ⅲ	単位数	4単位 (1・2学期)	学年・学科・コース	3年・普通科・普通コース(理系)
使用教科書	高等学校 数学Ⅲ(数研出版)		副教材等	チャート式 解法と演習 数学Ⅲ(数研出版) クリアー数学Ⅲ(数研出版)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	極限、微分法及び積分法について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	微分や積分を用いてグラフについて考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
5 6 7 8 9	第4章 微分法的应用 第1節 導関数应用 第2節 いろいろな応用	・微分係数や導関数の定義を理解し、導関数を用いてグラフをかけるようにする。また、方程式や不等式を解くことができるようにする。	○			・導関数を正しく求めることができ、増減表をかくことができる。	定期考査 授業態度 課題
				○		・導関数を正しく求めることができ、増減表を用いてグラフをかくことができる。	
					○	・未知の関数についての方程式や不等式をグラフを用いて解くことができる。	
6 7 8 9 10	第5章 積分法とその応用 第1節 不定積分 第2節 定積分	・定積分、不定積分の義を理解し、様々な性質や公式を導き、それらを計算に活用できるようにし、それらを用いてグラフの面積を求めることができるようにする。	○			・様々な関数の積分計算ができるようになる。	
				○		・積分を用いた方程式を解きことができる。また、不等式の証明ができる。	
7 8 9 10 11 12 1 2	第2節 定積分 第3節 積分法的应用					○	